

## 非常電源（低圧で受電する非常電源専用受電設備）試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住 所

氏 名

消防用設備等の別							
使 用 区 分		消防用設備等のみに使用( )					
		その他と共に( )					
受 電 方 式		Φ	W	V	Φ	W	V
主 開 閉 器		定 格 電 壓	V		定 格 電 壓	V	
		定 格 電 流	A		定 格 電 流	A	
試 験 項 目				種 別・容 量 等 の 内 容			結 果
外 観 試 験	設 置 場 所 等						
	構 造 ・ 性 能			—			
	保有距離 [m]	保有距離を確保しなければならない機器等の部分	操 作 面 (前 面)	点 檢 面	屋外・屋上で建築物と相対する面	—	
		一 種 耐 熱 形 配 電 盤 等					
		二 種 耐 熱 形 配 電 盤 等					
一 般 形 配 電 盤 等							
設置方法	分岐方 法	—					
	結線・接続	—					
	表 示	—					
	耐震措置	—					
	配電盤等の機器	—					
	配 線	—					

## 非常電源（低圧で受電する非常電源専用受電設備）

(2)

試験項目		種別・容量等の内容	結果
機能試験	接 地 抵 抗 試 験	(接地工事の種類) 種接地工事	Ω
	* 絶縁抵抗試験	充電部 相 互 間	MΩ
		充電部 と 外 箱 間	MΩ
備考	試験実施者が有している資格：		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。  
 3 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。  
 4 結果の欄には、良否を記入すること。  
 5 \*印の試験は、「配電盤及び分電盤の基準」(昭和56年消防庁告示第10号)に適合している旨の表示が付されているものにあっては、当該設備に係る部分について省略することができる。